

令和2（2020）年産水稲の作柄について

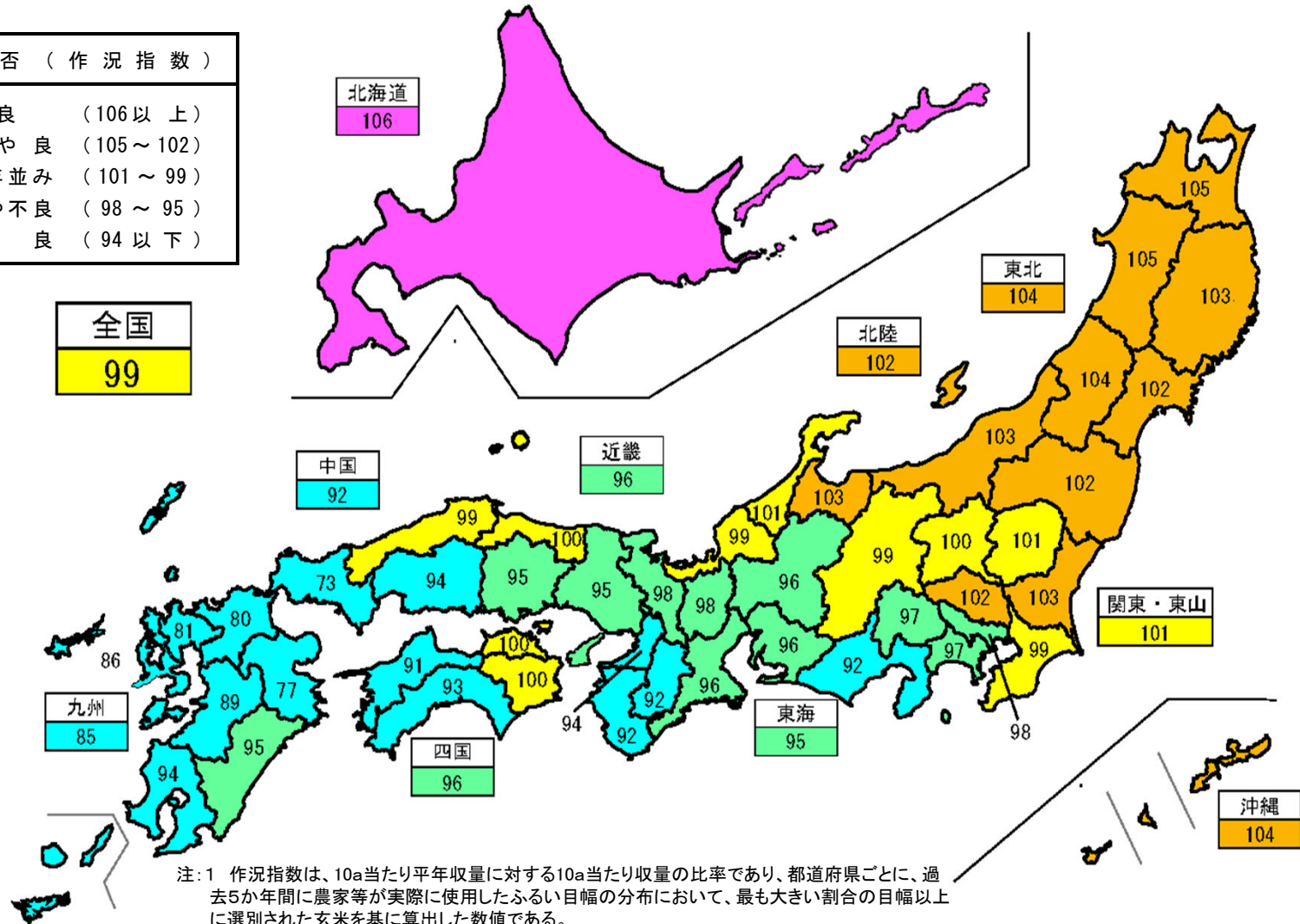
<目次>

令和2年産水稲の作況指数	1
令和2年産全国農業地域別作柄の特徴	2
水稲の作柄に関する委員会の意見に対する作柄の概要	3

令和2年産水稻の作況指数

全国農業地域・都道府県別作況指数

作柄の良否（作況指数）	
	良（106以上）
	やや良（105～102）
	平年並み（101～99）
	やや不良（98～95）
	不良（94以下）



注:1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
 2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）と普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

令和2年産全国農業地域別作柄の特徴（1/2）

北海道
作況指数 106

- ・全もみ数は、田植期以降、6月の日照不足で分けつが抑制されたものの、7月上・中旬のえい花分化期の天候に恵まれたこと、穂数が少ないことによる補償作用から、『やや多い』となった。
- ・登熟は、8月上旬以降はおおむね高温・多湿で経過し開花・受精は順調、9月以降の天候も恵まれ粒の肥大・充実も良好であったため『やや良』となった。

東北
作況指数 104

- ・全もみ数は、7月が日照不足であったものの、田植期以降の天候に恵まれ初期生育が順調であったことから、『多い』又は『やや多い』となった。
- ・登熟は、一部地域で全もみ数が多いことによる相反作用で『やや不良』となったものの、出穂期以降の天候が概ね順調に推移したことから、『平年並み』となった。

北陸
作況指数 102

- ・全もみ数は、7月が日照不足であったものの、田植期以降の天候に恵まれ初期生育が順調であったことから、『やや多い』又は『平年並み』となった。
- ・登熟は、一部地域で倒伏や9月上旬の高温のため『やや不良』となったものの、概ね天候に恵まれたことから『やや良』又は『平年並み』となった。

関東・東山
作況指数 101

- ・全もみ数は、早場地帯を中心に概ね『平年並み』以上が確保されたものの、遅場地帯では7月の日照不足で『やや少ない』又は『少ない』地域があった。
- ・登熟は、一部地域で7月の日照不足や全もみ数が多いことによる相反作用で『やや不良』となったものの、概ね順調に推移したことから『やや良』又は『平年並み』となった。

東海
作況指数 95

- ・全もみ数は、7月の低温・日照不足の影響により『やや少ない』となった地域が多かった。
- ・登熟は、9月以降の日照不足、トビイロウンカによる被害等で『やや不良』となった地域が多かった。

令和2年産全国農業地域別作柄の特徴（2/2）

近畿
作況指数 96

- ・全もみ数は、6月下旬から7月の日照不足により分けつが抑制されたものの、補償作用により一部地域を除くと、概ね『平年並み』となった。
- ・登熟は、早場地帯を除き9月以降の日照不足、トビイロウンカによる被害等で『不良』又は『やや不良』となった地域が多かった。

中国
作況指数 92

- ・全もみ数は、概ね『平年並み』以上が確保された。
- ・登熟は、出穂後の高温による登熟期間短縮、9月以降の日照不足、台風による潮風害、トビイロウンカによる被害等で『やや不良』又は『不良』となった地域が多かった。

四国
作況指数 96

- ・全もみ数は、概ね『平年並み』以上が確保された。
- ・登熟は、9月上旬以降の日照不足、トビイロウンカによる被害等より『やや不良』又は『不良』となった地域が多かった。

九州
作況指数 85

- ・全もみ数は、6月下旬から7月の日照不足により分けつが抑制された地域が多い一方、補償作用や8月の天候に恵まれたことから、地域により『やや多い』、『平年並み』、『やや少ない』、『少ない』となった。
- ・登熟は、9月以降の日照不足、台風による潮風害、トビイロウンカによる被害等で『不良』又は『やや不良』となった。

沖縄
作況指数 104

- ・全もみ数は、田植期以降、概ね天候に恵まれたことから、『やや多い』となった。
- ・登熟は、天候に恵まれ生育は良好だったことから『やや良』となった。

水稻の作柄に関する委員会の意見に対する作柄の概要

「水稻の作柄に関する委員会（令和2年度第1回）の意見」（令和2年9月9日）の抜粋

2 次回の調査に当たって留意すべき事項

- (1) 早場地帯や遅場地帯ごとの生育ステージの違いによって、7月の低温・日照不足が穂数・もみ数等へ与える影響を見極めるとともに、8月以降の高温が登熟・品質等へ与える影響について留意する必要がある。
- (2) 令和2年7月豪雨、9月の台風等による冠水・倒伏等の被害、台風に伴うフェーン現象が発生した地域では、登熟・品質等へ与える影響を見極める必要があるとともに、今後の台風や集中豪雨等による作柄への影響にも留意する必要がある。
- (3) いもち病、トビイロウンカ、斑点米カメムシ類等の病虫害の発生が多いと予想される地域においては、その発生状況に留意する必要がある。

1 早場地帯における①7月の低温・日照不足が穂数・もみ数等へ与える影響及び②出穂後の高温による登熟や品質への影響

- ① 7月は、北海道と沖縄を除き、全国的に平年に比べて低温・日照不足で推移したところであるが、早場地帯のうち東北及び北陸では、田植期から6月までの気象条件（気温・日照）が良好で初期生育が順調であったこと、気温も穂の形成に影響を及ぼす低温でなかったことから、全もみ数が十分確保され全体的には水稻の生育に大きな影響はなかったものと考えている。
- ② 8月以降の天候回復で出穂期以降の開花、受精も順調となり、登熟も一部で9月の高温が影響したものの、概ね順調であった。

	1㎡当たり 全もみ数		千もみ当たり 収量		作況 指数	1等米比率(%)		日照時間(平年対比:%)及び平均気温(平年差:℃)										
	(百粒)	平年比	(g)	平年比		令和 2年産 12月末現在	令和 元年産 確定	6月	7月			8月			9月			
								月間	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
北海道 (札幌)	347	103	17.2	102	106	93.2	89.1	日照時間	76	122	158	91	89	108	137	119	49	97
								平均気温	1.6	1.9	0.9	▲0.6	0.8	1.8	0.5	4.0	0.9	1.0
青森 (青森)	359	107	17.9	99	105	93.5	90.3	日照時間	117	85	154	84	64	110	124	161	67	99
								平均気温	2.1	0.9	▲0.4	▲0.3	1.0	3.2	1.5	4.2	1.4	0.5
岩手 (盛岡)	302	105	18.7	98	103	94.4	93.8	日照時間	130	43	41	42	71	135	131	94	82	101
								平均気温	2.1	1.5	▲1.3	▲0.8	0.6	2.1	3.0	4.6	2.0	0.2
宮城 (仙台)	304	102	18.6	100	102	90.4	70.6	日照時間	134	44	36	43	106	182	150	99	45	81
								平均気温	2.7	1.2	▲2.2	▲1.6	0.6	4.1	2.6	3.6	1.5	0.2
秋田 (秋田)	326	104	18.8	100	105	91.2	86.0	日照時間	119	49	113	56	53	87	148	178	94	121
								平均気温	1.7	1.0	0.0	▲0.6	0.5	0.6	2.8	5.0	1.8	0.7
山形 (山形)	340	106	18.7	98	104	94.5	91.5	日照時間	124	40	82	37	83	130	145	141	63	73
								平均気温	2.3	0.7	▲1.1	▲1.1	0.1	2.9	3.2	4.7	1.9	0.3
福島 (福島)	311	103	18.5	99	102	89.1	90.7	日照時間	119	38	62	44	99	155	170	82	54	76
								平均気温	2.3	1.2	▲2.3	▲1.5	0.8	3.3	3.1	3.2	1.5	▲0.1
茨城 (水戸)	306	99	17.7	102	103	81.1	80.9	日照時間	119	33	35	15	151	168	158	132	77	105
								平均気温	2.3	2.0	▲2.0	▲1.6	1.0	3.2	2.5	3.7	1.6	0.2
栃木 (宇都宮)	312	102	17.6	98	101	91.6	93.4	日照時間	117	25	55	25	110	191	131	97	79	102
								平均気温	1.9	0.9	▲1.9	▲1.7	1.2	3.4	2.9	2.8	1.7	0.3
千葉 (千葉)	313	102	17.5	97	99	90.9	83.0	日照時間	104	51	52	25	144	155	140	115	65	78
								平均気温	2.1	2.3	▲2.2	▲1.0	1.2	3.6	2.1	3.0	1.8	▲0.5
新潟 (新潟)	310	105	18.6	98	103	72.9	34.6	日照時間	122	21	95	33	88	88	149	133	80	89
								平均気温	1.8	0.0	▲0.7	▲1.5	0.0	1.4	2.5	4.1	1.3	0.5
富山 (富山)	289	102	19.7	99	103	89.5	85.1	日照時間	124	21	56	31	94	130	155	134	105	125
								平均気温	2.1	▲0.6	▲1.2	▲1.1	1.2	2.5	2.9	4.1	1.4	1.1
石川 (金沢)	287	99	18.8	102	101	87.2	85.3	日照時間	130	22	79	36	94	107	141	128	99	106
								平均気温	2.0	▲0.5	▲1.2	▲1.2	1.1	1.8	2.7	4.0	1.2	1.1
福井 (福井)	294	101	18.0	98	99	84.8	81.9	日照時間	137	28	77	30	98	110	146	116	89	119
								平均気温	1.9	▲0.5	▲1.5	▲1.3	1.1	1.5	2.8	3.9	0.8	0.7
長野 (長野)	332	101	18.6	97	99	94.3	96.2	日照時間	113	41	55	30	82	142	133	118	87	103
								平均気温	1.7	▲0.1	▲0.8	▲1.8	0.5	2.2	2.9	4.1	1.8	0.6
三重 (津)	277	97	17.8	99	96	39.4	29.3	日照時間	110	32	70	38	122	149	133	62	74	110
								平均気温	1.9	▲1.0	▲1.4	▲1.1	1.2	3.7	2.1	1.1	0.9	0.8
滋賀 (彦根)	291	96	17.8	102	98	69.6	54.5	日照時間	117	24	81	43	99	148	144	75	79	121
								平均気温	2.0	▲0.1	▲1.2	▲1.4	1.2	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0
鳥取 (鳥取)	276	101	19.1	99	100	52.6	52.8	日照時間	123	50	53	25	77	144	167	116	90	69
								平均気温	1.6	▲0.5	▲1.5	▲1.3	1.4	2.1	3.2	3.3	0.4	0.3
島根 (松江)	292	104	17.8	96	99	66.2	64.0	日照時間	124	31	71	34	77	139	156	133	80	88
								平均気温	1.8	▲1.1	▲1.4	▲1.4	1.6	2.2	3.2	3.5	▲0.6	0.2

資料：『作物統計』、『米の農産物検査結果』、気象庁データにより作成した。

注：1 都府県名の下段の()書きはアメダス地点名である。

2 作況指数については、農家等が使用しているふるい目幅ベースである。

3 1等米比率は、政策統括官付穀物課「米の農産物検査結果」における水稻うるち米の結果である。

2 遅場地帯での7月上中旬の低温・日照不足による全もみ数への影響 及び9月中下旬の日照不足の登熟への影響

- ① 7月の低温・日照不足の影響により、分けつが抑制され穂数が少なくなった地域が多く、全もみ数が十分確保できない地域が多かった。
- ② 出穂後の高温による登熟期間の短縮と9月の日照不足により登熟が抑制されたほか、地域によって9月上旬の台風による潮風害等、トビイロウンカの被害拡大も登熟に影響した。

	1㎡当たり全もみ数		千もみ当たり収量		作況指数	1等米比率(%)		日照時間(平年対比:%)及び平均気温(平年差:°C)																					
	(百粒)	平年比	(g)	平年比		令和2年産 12月末現在	令和元年産 確定	6月			7月			8月			9月												
								月間	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬												
群馬 (前橋)	288	98	17.5	101	100	81.7	90.2	日照時間	114	35	63	22	98	198	147	87	52	109	平均気温	2.0	0.9	▲2.1	▲2.0	1.5	4.4	3.2	2.6	1.8	0.4
埼玉 (熊谷)	297	102	17.4	101	102	44.9	73.7	日照時間	118	33	61	16	122	197	138	105	40	107	平均気温	2.0	0.7	▲2.3	▲2.0	1.5	4.2	2.9	2.5	1.6	0.2
東京 (東京)	...	nc	...	nc	98	-	-	日照時間	109	44	48	14	144	161	148	111	44	101	平均気温	1.8	1.5	▲2.2	▲1.3	1.5	3.8	2.6	2.7	1.8	▲0.4
神奈川 (横浜)	260	94	18.5	102	97	29.9	37.9	日照時間	106	43	57	20	136	152	145	120	66	89	平均気温	2.1	1.3	▲2.0	▲1.1	1.4	3.4	2.3	2.6	1.9	▲0.5
山梨 (甲府)	294	97	18.2	99	97	81.5	85.3	日照時間	105	37	57	38	120	157	109	77	93	99	平均気温	1.6	▲0.1	▲1.2	▲1.4	1.2	3.8	2.1	1.5	2.6	0.6
岐阜 (岐阜)	264	99	18.2	98	96	44.9	72.4	日照時間	110	31	86	41	100	156	139	63	87	140	平均気温	1.8	▲0.7	▲1.2	▲1.3	1.2	3.4	2.5	1.6	1.1	1.2
静岡 (静岡)	288	102	17.1	91	92	77.8	77.4	日照時間	119	34	43	33	134	164	124	90	97	106	平均気温	2.1	0.4	▲1.3	▲0.5	1.4	3.3	1.9	1.6	2.1	1.1
愛知 (名古屋)	279	98	18.0	99	96	53.2	58.1	日照時間	110	28	77	41	95	161	143	77	92	128	平均気温	1.9	▲0.7	▲1.2	▲1.0	1.0	3.6	3.0	1.4	1.2	1.4
京都 (京都)	281	100	18.1	98	98	60.7	60.2	日照時間	110	27	74	38	106	157	127	83	98	108	平均気温	1.7	▲0.8	▲1.4	▲1.3	1.4	3.0	2.6	2.2	1.3	0.7
大阪 (大阪)	289	101	16.5	94	94	41.4	49.0	日照時間	112	45	73	44	108	165	140	74	82	106	平均気温	1.4	▲1.1	▲2.0	▲1.3	0.8	2.8	2.1	1.3	1.0	0.2
兵庫 (神戸)	266	99	18.3	96	95	44.7	51.3	日照時間	100	34	72	42	102	149	153	80	80	98	平均気温	1.1	▲1.0	▲1.3	▲1.0	0.3	2.5	2.3	1.2	0.8	0.3

	1㎡当たり 全もみ数		千もみ当たり 収量		作況 指数	1等米比率(%)		日照時間(平年対比:%)及び平均気温(平年差:℃)										
	(百粒)	平年比	(g)	平年比		令和 2年産 12月末現在	令和 元年産 確定	6月	7月			8月			9月			
								月間	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
奈良 (奈良)	296	101	16.6	93	92	75.3	90.5	日照時間	109	39	66	34	113	152	120	77	76	117
								平均気温	2.3	▲ 0.1	▲ 0.9	▲ 0.4	2.0	3.7	2.7	2.4	1.6	0.9
和歌山 (和歌山)	273	96	17.3	98	92	26.0	30.3	日照時間	111	40	47	55	108	162	139	70	72	107
								平均気温	1.6	▲ 0.3	▲ 1.8	▲ 0.3	0.8	3.0	1.9	1.1	0.6	0.0
岡山 (岡山)	286	101	18.1	96	95	69.9	73.3	日照時間	105	45	81	39	77	154	149	117	74	102
								平均気温	0.8	▲ 2.1	▲ 1.9	▲ 1.7	▲ 0.2	2.3	2.4	2.0	0.0	▲ 0.1
広島 (広島)	285	99	17.9	95	94	86.3	82.8	日照時間	110	49	65	34	72	153	151	87	83	120
								平均気温	1.2	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.8	0.3	2.2	2.6	2.2	▲ 0.3	0.0
山口 (山口)	278	99	15.0	82	73	62.5	69.4	日照時間	129	51	61	39	77	155	126	91	88	157
								平均気温	1.5	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 1.2	0.7	2.0	2.4	1.4	▲ 1.0	0.0
徳島 (徳島)	289	101	16.7	99	100	48.2	39.5	日照時間	110	35	66	53	99	167	148	99	61	83
								平均気温	1.4	▲ 0.8	▲ 1.2	▲ 0.8	0.7	2.8	2.7	1.4	0.3	0.1
香川 (高松)	287	100	17.7	101	100	16.2	21.3	日照時間	106	41	65	48	79	161	140	96	75	93
								平均気温	1.6	▲ 1.6	▲ 1.5	▲ 0.5	1.0	3.4	3.2	2.4	0.8	0.6
愛媛 (松山)	292	103	16.6	93	91	42.5	30.3	日照時間	111	45	63	58	105	158	127	107	66	95
								平均気温	1.5	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 0.3	1.3	2.3	2.2	2.5	0.1	0.1
高知 (高知)	264	103	16.7	91	93	20.8	17.6	日照時間	106	54	81	69	96	176	126	92	56	103
								平均気温	1.1	▲ 0.8	▲ 1.6	▲ 0.4	0.8	2.3	1.7	1.0	▲ 0.1	0.2
福岡 (福岡)	279	95	15.6	91	80	9.4	23.0	日照時間	124	44	65	43	96	159	124	93	82	138
								平均気温	1.9	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 1.0	1.3	2.3	2.7	1.4	▲ 1.1	▲ 0.3
佐賀 (佐賀)	288	93	15.8	92	81	47.3	15.8	日照時間	112	53	49	36	85	147	114	79	73	132
								平均気温	2.0	▲ 1.1	▲ 1.6	▲ 1.3	0.6	2.2	2.6	1.3	▲ 0.4	0.0
長崎 (長崎)	272	93	16.1	94	86	32.2	15.0	日照時間	101	73	57	57	95	156	120	60	58	106
								平均気温	1.3	▲ 1.1	▲ 1.9	▲ 1.1	0.2	1.4	1.2	0.2	▲ 1.1	▲ 0.9
熊本 (熊本)	306	102	15.8	90	89	30.9	23.5	日照時間	102	54	60	61	111	161	105	72	67	118
								平均気温	1.3	▲ 1.5	▲ 1.8	▲ 1.2	0.9	2.2	1.3	0.7	▲ 0.6	▲ 0.8
大分 (大分)	285	97	14.7	84	77	43.2	40.6	日照時間	111	44	68	67	102	175	119	88	81	102
								平均気温	1.6	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 0.4	1.1	2.8	2.3	1.7	0.2	▲ 0.2
宮崎 (宮崎)	291	101	16.6	94	95	43.2	50.5	日照時間	100	43	50	100	131	186	107	86	41	101
								平均気温	1.3	▲ 1.3	▲ 2.3	▲ 0.1	1.9	3.0	1.6	1.2	0.6	▲ 0.5
鹿児島 (鹿児島)	276	98	17.1	97	94	37.2	43.7	日照時間	96	44	42	96	113	177	104	57	39	105
								平均気温	1.0	▲ 1.0	▲ 2.4	▲ 0.6	0.8	2.1	1.1	0.1	▲ 0.7	▲ 0.8
沖縄 (那覇)	...	nc	...	nc	104	63.6	53.8	日照時間	120	79	89	102	95	128	40	63	96	85
								平均気温	1.3	0.4	0.2	0.5	0.9	1.5	▲ 0.1	▲ 0.5	0.8	▲ 0.1

資料：『作物統計』、『米の農産物検査結果』、気象庁データにより作成した。

注：1 都府県名の下段の()書きはアメダス地点名である。

2 作況指数については、農家等が使用しているふるい目幅ベースである。

3 1等米比率は、政策統括官付穀物課「米の農産物検査結果」における水稲うるち米の結果である。

3 台風等による作柄への影響

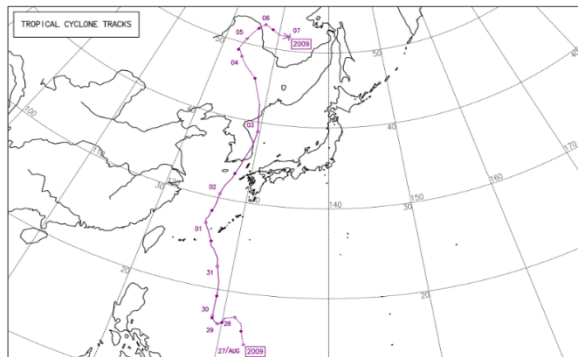
- ① 7月3日から7月31日にかけて、日本付近に停滞した前線の影響で各地で大雨となった令和2年7月豪雨については、主に東北、九州の一部において土砂流入、浸冠水、倒伏による被害が発生し、長時間冠水したほ場ではもみの退化、品質低下が見られた。
- ② 9月2日未明に大型で非常に強い台風第9号が九州北部に最も接近し、その後9月6日未明には大型で非常に強い台風第10号が九州南部に最も接近し、広い範囲で強風域となり、一部は暴風域となったことから、九州、中国四国において、倒伏、葉先裂傷等の被害が発生した。
特に、沿岸部のほ場では潮風害の発生、出穂開花期のほ場ではもみ擦れによる粒肥大への影響が見られた。

災害名	主 都道府県	被害面積	被害量	災害名	主 都道府県	被害面積	被害量	災害名	主 都道府県	被害面積	被害量
		ha	t			ha	t			ha	t
令和2年7月豪雨	岩手	1,310	112	令和2年7月豪雨 (続き)	長崎	34	107	台風第9号及び第10号 (続き)	佐賀	7,640	2,860
	秋田	111	219		熊本	1,700	4,770		長崎	1,900	3,830
	山形	2,390	4,970		大分	192	1,090		熊本	4,570	563
	長野	68	128		宮崎	107	108		大分	344	224
	島根	218	194		鹿児島	471	580		宮崎	565	468
	福岡	3,830	4,830	山口	567	389	鹿児島		10,000	10,100	
	佐賀	330	109	福岡	9,910	939	沖縄		12,400	20,800	

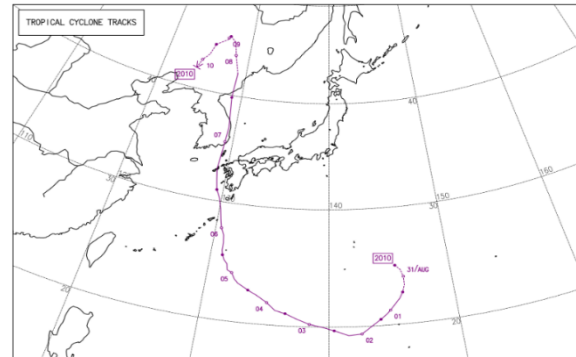
データ：「農作物災害種類別被害統計」

注：主な都道府県は被害量が100 t以上を記載した。

台風第9号経路図



台風第10号経路図



4 病虫害の発生による作柄への影響

- ① トビイロウンカについては、平年に比べ速いペースで飛来し、その飛来量も多かったことに加え、8月から9月の天候が増殖に好適な高温・少雨となったことから多発生となり、東海以西の広い範囲において吸汁害や坪枯れの被害が拡大した。平年より早い飛来かつ断続的な飛来であったことから、適期防除が難しかったこともあり、特に例年被害が見られない地域で被害が拡大した。また、トビイロウンカの被害回避のため早刈りとなり、青米、未熟粒の発生も見られた。
- ② 斑点米カメムシ類の発生も多く、一部で着色粒の発生に伴う品質低下も見られた。

病虫害の被害量

都道府県	令和2年産 作況指数	いもち病 (t)			ウンカ (t)			カメムシ (t)		
		令和2年産	令和元年産	平成30年産	令和2年産	令和元年産	平成30年産	令和2年産	令和元年産	平成30年産
北海道	106	74	105	318	52	48	45	257	617	127
青森	105	1,370	65	87	32	34	41	1,220	1,180	93
岩手	103	5,470	880	1,110	3	2	1	650	121	130
宮城	102	2,450	1,750	1,870	2	2	2	600	379	374
秋田	105	8,710	2,590	4,370	3	9	39	340	597	365
山形	104	5,190	2,680	1,800	20	81	141	436	530	340
福島	102	4,370	845	767	26	32	33	570	400	371
茨城	103	2,850	2,260	1,720	230	319	116	1,720	4,070	2,810
栃木	101	5,000	3,100	3,400	470	570	490	880	470	850
群馬	100	788	977	840	322	333	291	119	115	127
埼玉	102	1,570	600	400	211	600	600	181	200	110
千葉	99	2,550	3,980	2,970	30	30	11	450	730	220
東京	98	2	0	1	1	0	0	0	0	1
神奈川	97	6	-	-	70	0	0	1	0	0
新潟	103	1,670	658	910	385	348	55	610	510	229
富山	103	43	43	44	2	4	4	75	19	25
石川	101	46	77	40	1	20	15	15	18	26
福井	99	670	152	110	26	25	25	210	260	125
山梨	97	500	450	380	25	18	15	42	35	65
長野	99	2,970	1,310	1,610	100	100	213	500	400	334
岐阜	96	1,900	1,450	2,090	692	217	267	921	836	592
静岡	92	689	653	576	4,100	1,020	165	428	310	329

都道府県	令和2年産 作況指数	いもち病 (t)			ウンカ (t)			カメムシ (t)		
		令和2年産	令和元年産	平成30年産	令和2年産	令和元年産	平成30年産	令和2年産	令和元年産	平成30年産
愛知	96	1,080	1,630	1,550	4,140	140	123	353	603	441
三重	96	1,200	1,320	546	142	113	68	903	384	327
滋賀	98	1,850	1,980	3,610	977	984	454	214	216	211
京都	98	43	58	91	354	112	2	138	58	58
大阪	94	300	290	350	1,400	400	180	32	30	30
兵庫	95	650	350	300	3,770	456	17	1,110	429	183
奈良	92	1,250	1,240	1,200	3,050	180	50	80	70	140
和歌山	92	295	240	205	1,750	400	115	78	120	95
鳥取	100	502	208	407	225	60	12	75	61	87
島根	99	470	1,080	201	500	490	35	100	100	98
岡山	95	2,590	1,380	1,270	3,720	2,160	636	521	500	288
広島	94	971	1,300	819	3,070	1,000	23	587	409	281
山口	73	680	790	560	17,200	1,950	20	261	400	110
徳島	100	312	421	558	91	22	47	177	133	185
香川	100	840	1,000	900	470	230	160	150	150	140
愛媛	91	735	677	415	2,340	677	58	200	270	722
高知	93	1,190	1,250	1,130	970	2,100	30	160	194	198
福岡	80	1,660	2,050	462	2,890	2,210	121	253	297	106
佐賀	81	860	2,530	314	1,520	6,790	38	46	48	48
長崎	86	348	743	265	1,540	1,790	33	102	70	25
熊本	89	2,600	2,320	1,580	4,980	4,100	185	62	70	79
大分	77	3,060	2,350	1,680	4,520	3,500	27	102	62	94
宮崎	95	2,710	2,840	2,470	1,630	3,070	430	331	361	350
鹿児島	94	3,070	3,190	2,790	2,590	3,870	1,070	778	764	821
沖縄	104	12	10	0	0	-	-	7	-	-

データ：「作物統計」

注：作況指数については、農家等が使用しているふるい目幅ベースである。

○ 病虫害発生予報第6号（令和2年8月5日発表）抜粋

- ・ いもち病：関東、甲信、北陸、東海、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ トビイロウンカ：近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されており、一部の県では警報が発表されています。
- ・ 斑点米カメムシ類：北東北、関東、甲信、北陸、東海及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。

○ 病虫害発生予報第7号（令和2年9月9日発表）抜粋

- ・ いもち病：南関東及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ トビイロウンカ：東海以西の多くの地域で多くなると予想されており、一部の地域では坪枯れも発生しています。
- ・ 斑点米カメムシ類：北東北、北陸、東海、四国及び北九州の多くの地域で多くなると予想されています。